慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	編集後記
Sub Title	
Author	法学研究編集委員会(ホウガク ケンキュウ ヘンシュウ イインカイ)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1978
Jtitle	法學研究 : 法律・ 政治・ 社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.51, No.4 (1978. 4) ,p.123- 123
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19780415-0123

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

昨年来この法学研究に名誉教授の先生の訃報を重ねて来たが、今度さらに峯村光郎先生の訃報をお伝えすることになつたのは重ねて悲しいことである。

峯村先生のご業績については、法哲学、労働法、経済法の分野における秀れた業績、実践の場としての公共企業体等労働委員会の会長としての足跡、さらに普通部長、学部長や体育会の部長としての学内に残された成果、また、この法学研究にとつては編集委員長として果された多くの役割を挙げることが出来る。このように先生は精力的に多くの仕事を受け持たれ、同時にすぐれた学績を残されただけに、その健康についても自信と共に周辺の者からも疑問を持つことはなかつた。従つて先生が病床にふされていることを伝えられながら一時的なものと考えご回復になるものと信じていた。それにもかかわらず先生はあまりにも早く天に召されてしまつたのである。

先生は世に知られる卓越した学者であると共に優れた教師として多くの後進を育てられた。いわゆる峯村ゼミの一員としてその教えを受けた者は少くないのみならず、先生の巧みな講義に接して啓発された者は少くない。後進に対しては厳しい鞭をふるわれると共に自ら律するに厳しくその業績は海外にまでおよんだといえる。わたくし達残された者は先生の歩んだ道を覚えて、改めてその足跡をたどり、先生に劣らない学績を果すことによつて学恩に報いることになろうかと考えている。先生の専攻とする分野が多岐にわたるだけに、その弟子も少くない。それらの人々が今後ともすぐれた成果を挙げられることが期待される。

先生の追悼のために記事を寄せられた多くの先生方に感謝申し上げ、重ねて峯村先生の霊の安からんことをお祈りする。

法学研究編集委員会